

長津田地区

長津田地区別計画推進策定委員会

地域

長津田1～7丁目、長津田町、いぶき野、
長津田みなみ台1～5丁目、6・7丁目の一部

緑区の最西端・最北端に位置し、南北に広い地区です。西は東京都町田市、北は青葉区、南は瀬谷区、南東は旭区に隣接しています。区内で最も広く、人口、世帯数ともに最大となっています。

近年、地区の東西を貫いている国道246号線東側、長津田みなみ台の大規模開発に伴い、大型商業施設、大規模マンション等が増加し、転入者が増加しています。また、駅北口地区市街地再開発により、都市型住宅等の整備も進められており、駅周辺に保育施設が多くあります。

<主な関連施設>

最寄駅：長津田駅（JR横浜線・東急田園都市線・こどもの国線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：いぶき野小学校、長津田小学校、長津田第二小学校、田奈中学校

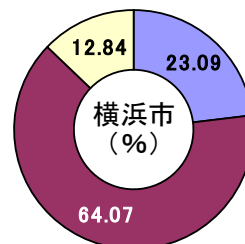
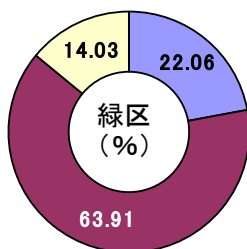
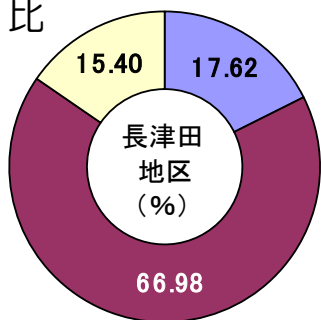
地域ケアプラザ等：横浜市長津田地域ケアプラザ

<年齢区分別人口>

平成27年(2015年)9月末

人口比

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15～64歳) □年少人口比率(0～14歳)

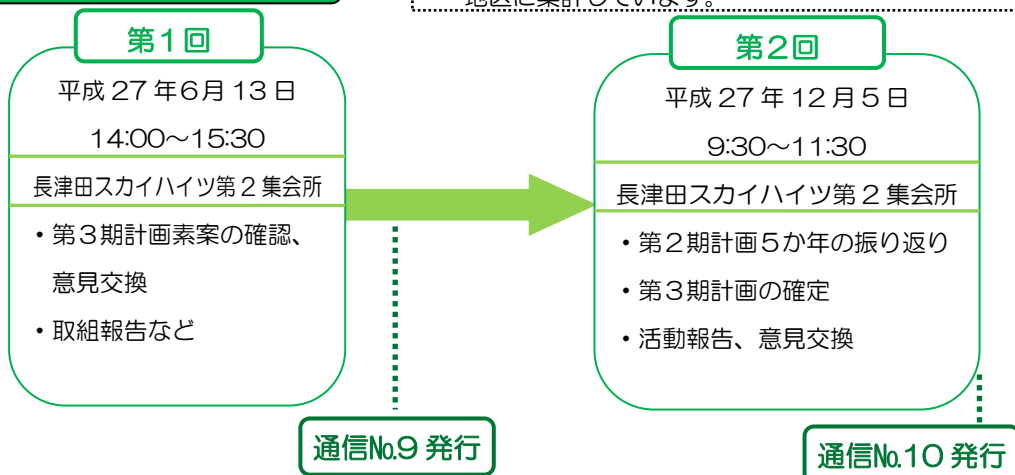


75歳～	3,032人
65～74歳	3,474人
15～64歳	24,739人
6～14歳	3,401人
0～5歳	2,288人
合計	36,934人

75歳～	17,774人
65～74歳	21,834人
15～64歳	114,752人
6～14歳	15,597人
0～5歳	9,603人
合計	179,560人

75歳～	397,977人
65～74歳	462,998人
15～64歳	2,388,957人
6～14歳	291,502人
0～5歳	187,470人
合計	3,728,904人

地区別計画推進策定委員会の開催



注) 長津田みなみ台7丁目のデータは、新治西部地区・十日市場団地地区に集計しています。

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成27年度地区別計画推進状況



長津田地区



～向こう三軒両隣～ ともにささえあう
福祉の街 長津田 を目指して！

長津田地区では、「自治会活動をわかりやすく」、「あいさつできる地域づくり」、「認知症の人や家族が暮らしやすい地域づくり」などを目標に活動に取り組んできました。

「見守り」と「認知症」に関する取組

新聞販売店と自治連合会等が協定を結んで取り組んでいる「地域の見守り活動」は、更なるネットワーク強化に向け、協力事業者を増やすことなどを検討しています。

さらに、昨年度の講演会に引き続いて「認知症になっても安心して暮らすための映画上映会」や地区内すべての公立小・中学校で「認知症サポーター養成講座」を実施するなど、地域の中で、見守りが必要な方への理解を深めるための取組を進めました。



(写真：「新聞販売店との意見交換会」の様子)



(写真：「ハツラツ！健康麻雀」の様子)



(写真：「映画上映会」の様子とチラシ)

大好評！「ハツラツ！健康麻雀」

また、誰もが参加できる「ハツラツ！健康麻雀」が平成27年10月から始まりました。

申込定員を上回る65人の参加があり、回数も増やして、月3回で実施していますが、大好評で、さっそく「回数を増やしてほしい」との要望も出ています。

麻雀での脳トレと合間の体操で、心身ともに介護予防・閉じこもり予防を目指しつつ、誰もが気軽に集え、「顔の見えるつながり」をつくる場としても期待されています。



長津田地区では、今後も「地域の見守りネットワーク」の構築を柱に、地域全体で日頃から無理なく、ゆるやかな見守り活動を着実に進め、「～向こう三軒両隣～ともにささえあう街 長津田」の実現を目指します。

長津田地区別計画推進策定委員会



長津田地区別計画推進策定委員会
平成27年7月発行 No. 9

長津田地区別計画推進策定委員会通信

「みどりのわ・ささえ愛プラン」長津田地区別計画 平成28年度から5か年の取組目標と今後の方向性を確認！

平成27年6月13日（土）、市営長津田スカイハイツ第二集会所において、「第1回長津田地区別計画推進策定委員会」を開催しましたので、その内容を御紹介します。



第1回推進策定委員会の様子

◇ みどりのわ・ささえ愛プラン長津田地区別計画素案について ◇

誰もが身近な地域で安心して暮らしていくために、身近な地域の福祉保健に関するさまざまな課題について、区民、事業所、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」を策定し、取り組んでいます。

「長津田地区別計画素案」は、長津田地区別計画推進策定委員会が、まちの特性や課題などについて話し合い、平成28年度からの5か年の地域の目標として素案を検討しました。

今後のスケジュール

- 9～10月頃 素案公表・意見公募
- 12月頃 第2回地区別計画推進策定委員会
- 3月 第3期計画の公表
- 4月 第3期計画スタート！

新たな計画の4つの目標

- ◆目標1 地域情報の発信と共有をすすめます
- ◆目標2 若い人も高齢者も活躍できる地域づくりをすすめます
- ◆目標3 日頃の見守りから「いざ」という時の支えあいにつなげます
- ◆目標4 認知症の人も障がいのある人も、その家族も暮らしやすい地域づくりをすすめます



注目!

今年もやります! 認知症普及啓発イベント!

長津田地区社協主催で11月に開催予定です。

日時：平成27年11月14日（土）午後
会場：みどりアートパーク
内容：映画上映、取組発表など
※詳細は自治会回覧等でお知らせします!



裏面があります



取組報告

○ 地域の見守りネットワーク構築支援事業について

(井上敏正 長津田自治連合会会長)

自治連合会、地区社協、地区民児協の代表者による「向こう三軒両隣共に支え合うまちづくり運営委員会」で検討を進め、26年10月に、日常的な見守り体制実現のため、新聞販売店4社による見守り協定を締結。今後は協力事業者を増やしていく予定です。

また、今年度は11月に認知症普及啓発イベントを行う予定です。ぜひ、ご参加ください。(表面下部参照)



「協力事業者用ステッカー」

○ 地域福祉・交流拠点整備事業(南長津田団地)

(水野美紀子 南長津田団地自治会)

25年度に横浜市の「団地再生モデル支援事業」に選定され、検討や取組を開始し、27年2月に事業計画書を提出、3月に決定されました。

4月からは集会所拠点運営委員会を設置し、団地集会所の機能は残しながら、団地の周辺から親子連れなど、誰でも立ち寄れる拠点づくりに向け、本格的に検討が始まっています。



拠点整備予定の集会所

第3期計画について意見交換

○ 地域情報の発信と共有をすすめます

若い人も高齢者も挨拶をして、住民同士のつながりを大切にしたい。各地域で活動しているグループの取組を伝えて共有し、活動を活発にしたい。緊急時の注意喚起などは、自治会などが中心となり、タイムリーな提供が大事。

○ 若い人も高齢者も活躍できる地域づくりをすすめます

高齢者も子育て中の方も、日頃から声を掛け合って、困った時に助け合える関係にしたい。小学校の学援隊に参加したことで顔を覚えてもらい、その子が中学生になっても挨拶してくれる「つながり・交流」が持てて良かった。

健康体操を取り入れた健康麻雀など、各自治会で介護予防の活動を進めたい。親子のつどいの場所をつくって、元気な高齢者も手伝えるようにしたい。

○ 日頃の見守りから「いざ」という時の支えあいにつなげます

新聞販売店との見守り協定は良い取組であると感じた。自治会などが協力して、「防災ささえあいカード」の更新を進めることが重要である。自治会の班単位などで、お互いの情報を共有し、いざという時に役立てたい。

○ 認知症の人も障がいのある人も、その家族も暮らしやすい地域づくりをすすめます

認知症サポーター養成講座などを通じて、地域の理解者を増やし、実際の相談などにつなげていきたい。



◆ 第2回地区別計画推進策定委員会は、12月に開催し、今年度の取組内容や第3期計画素案の意見募集結果を踏まえた意見交換を行う予定です。

【平成27年度長津田地区別計画推進策定委員】(五十音順、敬称略、○:委員長)
秋山博昌、石森康之、石原紀男、○井上俊之助、井上敏正、市木智子、大瀧正春、岡部茂男、岡部豊、鴨志田守、河原徳治、岸たづ子、栗山孝子、小亀真知子、近藤光男、志田久男、杉崎勇治、鈴木和雄、鈴木勝、竹田和人、田代裕明、鶴丸哲郎、内藤保次、沼礼子、原田ますみ、福田幹男、星野久美子、水野美紀子、山口浩、横塚寛、横塚靖子



<連絡先>長津田地区別計画推進策定委員会事務局
緑区地域振興課内 TEL: 930-2231



長津田地区別計画推進策定委員会
平成28年1月発行 No. 10

長津田地区別計画推進策定委員会通信

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」 第3期長津田地区計画がまとまりました！

平成27年12月5日（土）、長津田スカイハイツ第2集会所において、「第2回長津田地区別計画推進策定委員会」を開催しました。これまでの取組を振り返り、今年の4月から開始する第3期計画の内容を確定しました。



第2回推進策定委員会の様子

◇ みどりのわ・ささえ愛プラン長津田地区別計画 ◇

身近な地域の福祉保健に関するさまざまな課題について、長津田地区の住民が話し合い、事業所・地域ケアプラザ・社会福祉協議会・区役所などと協働で取り組む地域の目標として策定した計画です。



第3期長津田地区別計画の概要

目標1 地域情報の発信と共有をすすめます

- ・自治会の回覧物をさらに分かりやすくし、広報の発行や掲示板の活用に取り組む
- ・多世代に自治会活動を情報提供し、地域の行事や活動への参加を促進する

目標2 若い人も高齢者も活躍できる地域づくりをすすめます

- ・楽しい遊びを取り入れるなど、若い世代が参加しやすい自治会活動
- ・高齢者による通学時の見守りなどで、地域の顔見知りを増やす
- ・多世代型「向こう三軒両隣」の実現

目標3 日頃の見守りから「いざ」という時の支えあいにつなげます

- ・日常的な見守りをすすめ、災害時の支援が必要な方への備えを知ってもらう
- ・見守りの支援者をさらに増やす
- ・要援護者支援などは、自治会の班長・組長が中心となり進めていく

目標4 認知症の人も障がいのある人も、その家族も暮らしやすい地域づくり

- ・認知症の予防や理解を深める活動を進め、認知症サポーター養成講座を行う
- ・障がいのある人や家族の地域活動への参加や情報発信を充実する

裏面があります



今年度の取組を振り返り、共有しました

第2回委員会では、今年度の取組等を確認するために実施した委員向け「アンケート」の集計結果を説明するとともに、主な取組として、次の3つの取組についての報告がありました。その後、「見守り」をテーマに意見交換を行いました。



認知症になっても安心して暮らすための映画上映会
11月14日(土) (みどりアートパーク 参加者:252人)



介護予防・閉じこもり予防「ハツラツ！健康マージャン」
10月7日から月3回でスタート (長津田スカイハイツ第二集会所)



20~30歳代と自治会役員による「第1回若者と語ろう！」懇談会
10月4日(日) 下長津田自治会 (参加者 若者7人、役員10人)

「見守り」をテーマに意見交換しました

- ★認知症の方がいる家族は、周囲に話せないことが多い。
- ☆サークルの知り合いが近所の「お茶飲み会」に誘って周囲も気づくことができた。認知症になっても声を掛け合って近隣の人と集まれるサロンのような場所が必要。
- ★認知症の方を「見守る」人をふやす必要がある。
- ☆認知症サポーター養成講座を、ボランティア(キャラバン・メイト)が色々なところでできるようマニュアル化したい。
- ★ひとり暮らしの方の家族の緊急連絡先の把握は、個人情報の問題が気にかかる。
- ☆本人の同意があれば、自治会の人も「防災ささえあいカード」などで共有できる。
- ☆新聞販売店との協定に基づいて、初めての通報があった。郵便受けに新聞がたまっていたが、地域ケアプラザ、自治会や民生委員児童委員に共有され訪問、本人の無事を確認。
- ★日頃からの「顔の見える関係」は、自然なつながりができることが理想である。
- ☆各々が活動グループに参加していることが大切。保健活動推進員や青少年指導員などの活動が重要になってくるので、団体も見守りの会議に参加する。
- ☆自治会主催の定期清掃でバーベキューを実施、住民同士が情報交換をしている。
- ☆50世帯位の単位で、「住民支え合いマップ」づくりに取組んだらどうか。
- ★こどもの虐待や貧困について、地域ができる見守りとは何か。
- ☆学習支援の場に教員経験のある地域のボランティアが参加できるのではないか。
- ★障がいのある子と親が孤立することが心配
- ☆障がいのある子と親が地域活動に参加しやすい環境をつくることや、親自身も地域に目を向ける意識を持つことが大事。

このほか、平成26年度から取り組んでいる「地域の見守りネットワーク構築支援事業」では、認知症啓発映画会の他、新聞販売店と協働した見守り活動連絡会(8月)や地域で徘徊の方を探す「さがしてネット」に取り組んでいる港北区新吉田あすなろ地区の代表を招いた勉強会(9月)なども行いました。

【平成27年度長津田地区別計画推進策定委員】(五十音順、敬称略、○:委員長)

秋山博昌、石森康之、石原紀男、○井上俊之助、井上敏正、市木智子、大瀧正春、岡部茂男、岡部豊、鴨志田守、河原徳治、岸たづ子、栗山孝子、小亀真知子、近藤光男、志田久男、杉崎勇治、鈴木和雄、鈴木勝、竹田和人、田代裕明、鶴丸哲郎、内藤保次、沼尾礼子、原田ますみ、福田幹男、星野久美子、水野美紀子、山口浩、横塚貴、横塚靖子

<連絡先> 長津田地区別計画推進策定委員会事務局
緑区地域振興課内 TEL: 930-2231

次の委員会は、6月頃
に開催する予定です

